

県直前会長挨拶

第48期県会長 安岡 大輔



鳥取県中小企業青年中央会第49期直前会長の安岡大輔です。昨年度の48期は、依然、コロナ禍の状況は続いていましたが、同時にwithコロナという考え方が出てきていた中で始まった年でした。どのような1年間にしようと思ったときに、自分が入会してから14年間の活動の中で培ってきた中央会とは何かをそのままテーマにしました。

第48期テーマ「人」へ繋がり、繋げる～に込めた思いとしましては、コロナにより希薄となった人と人との繋がりを取り戻す機会をつくること。お互いの「人」を知り、学び、尊重すること。自分という「人」を発揮すること。そして、次代へと繋いでいくことでした。

48期事業として、委員長・副委員長交流会、親睦事業、ビジネス教育事業と実施しましたが、全役員の皆様が、テーマの意を汲んでいただき、会員の皆様に参加したくなる魅力ある事業となり、繋がりをつくることができました。50周年を目前に控え、次へと繋がる1年間になったと確信しております。第48期県事業の企画・運営に尽力くださった県役員の皆様に心よりお礼を申し上げますとともに、各事業に対し、ご理解、ご協力いただき、参加していただいた会員の皆様に心よりお礼申し上げます。

卒業例会

我、マルハダカでゆく委員会 委員長 谷口 拓史

まずは10名のご卒業生の皆様、この度はご卒業誠におめでとうございます。そして、永きに亘る中央会活動本当にお疲れ様でございました。皆様のご卒業の節目と、新たな門出の場に立ち会えた事、私自身にとっても最高の思い出となりました。

さて、この度の卒業例会、二部編成で構成した事、あるいは結婚式を模写した設えの卒業例会であった事等々、例年の卒業例会とはかなり毛色の違う卒業例会を実施致しました。そのこともあり、当日を迎えるまでは本場に様々な苦労がございました。しかし、その度に卒業生10名はきっと喜んで下さるはず、ウチらのやろうとしているチャレンジは絶対に間違っていないはずという気持ちを心の支えに、プレずに最後まで突き進んで参りました。結果、卒業例会に関わって下さった全ての方のご協力をもちまして、無事卒業例会を終える事が出来ました。本当にその際はありがとうございます。最後に西原会長、本当に一年間お世話になりました。私なりに最大限存在をさせたのではなかろうかと自負しております。そして一年間融通自在に走り抜けた我マル委員会の皆様、心より感謝申し上げます。

令和4年度 卒業生

谷口 久信	株式会社フリー／平成20年度入会	久本 幸広	株式会社久本管工／平成24年度入会
上田 隆	有限会社津ノ井薬局／平成21年度入会	宮本 敏行	株式会社宮本外装／平成26年度入会
中島 健太	株式会社CRAFT／平成23年度入会	田村 聡子	dear...／平成28年度入会
奥村 尚通	有限会社マエタ木材／平成24年度入会	住 仁人	株式会社ダスキン鳥取／平成30年度入会
徳吉 雄三	有限会社徳吉薬局／平成24年度入会	高木 誠	(株)若狭屋プロモーション／平成30年度入会



鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

2023年7月発行 N.208



発行人：西原 泰仁(第48期会長)
編集責任者：徳吉 雄三(名誉委員長)
編集委員会：名誉委員長

網 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
領 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>
E-mail tsc@tsc21.gr.jp
FB <https://www.facebook.com/east.chuoukai/>



会長挨拶

第49期会長 岡 大輔



令和5年度、第49期会長を務めさせていただきます岡大輔です。どうぞよろしくお願い申し上げます。約3年半前に発生した新型コロナウイルス感染症により、日常生活の当たり前が当たり前ではなくなりました。そんな中、様々なものが変化・進化することで適応しながら今日を迎えています。そして5月より感染症法の位置づけが2類から5類へ移行されたのを受け、少しずつですが日常を取り戻しつつあると感じています。

当会も皆様のご理解とご協力をいただきながら、変化・進化する中でコロナ禍でも活動を継続できました。今があるのも皆様のおかげとひとえに感謝しております。

さて、現在、会員の約半数はコロナ禍で入会者であり、会の活動の当たり前が会員それぞれ変わってきています。そこで本年度はコロナ以前を基とした活動を行い、温故知新の精神を持ち、これからの青年中央会を創っていく大切な一年であると考えております。

そんな中、本年度のテーマを「結」といたしました。私は青年中央会という「縁」で出会った我々が共に本気で活動することにより仲間が出来ると思っております。そして仲間がいるからこそ、自身の成長・自社の発展が地域の活性化となりまた会の成長に繋がると思っております。この「縁」で出会った我々が本年度はいろいろな組織と関わり、共に活動し、それを深め育てていくことで強い「結び」が生まれ、新しい一歩を踏み出せる、そんな一年にしたいと考えております。

そして、来年50周年を迎えます。人として企業として会として、成長・発展し続ける組織であるため、綱領のもと「全ての経済人に必要とされる会」を目指し、全員参加で「今の」「将来の」「未来の」青年中央会を創るという気持ちで活動してまいります。いままでの48年間の青年中央会の歴史に感謝し、全員で50周年を創造し、祝い、すばらしい50周年を迎えましょう。この一年間、皆様のご協力をいただきながら全力で臨んでまいります。何卒よろしくお願い致します。

直前会長挨拶

直前会長 西原 泰仁



第49期、直前会長を務めます西原泰仁です。昨年度一年間皆様には大変お世話になりました。「存在をよせ」～互いの魅力を分かち合う～をテーマに活動した一年でしたが、皆様いかがだったでしょうか。自己PRできましたか。自分の思いを発信できましたか。会の活動に率先して出席できましたか。今一度自分の胸に問いかけていただき、今年度の活動に繋げていきましょう。

長い間新型コロナウイルスに悩まされてきましたが、ようやく元の世の中が戻ろうとしています。45、46、47期はそれぞれの会長の元、経験したことのない苦難や戸惑いの連続でしたが、コロナに負けず継続して活動してきた結果が、今に繋がったと確信しています。皆様には感謝の気持ちばかりありません。今後は人と人との触れ合う時間も増え、3年半我慢してきた活動もようやく活発化していくことと思います。その中で自分自身どう活動していくのか、何を目的とし、目標は何なのか。今一度、青年中央会での自身の存在意義を明確にし、自分をもって楽しく活動していただきたいと思います。また時代の変化とともに、以前にも増して様々な意見や考え方をを持った会員が増えました。互いの意見を尊重しあい、時代に合わせた変化を受け入れながらチャレンジしていきたいものです。新入会員の皆様も含め活躍多いに期待しています。

そして49期はいよいよ50周年の前年です。中央会歴が長く、冷静な判断力を持ち、頼れる男、岡会長の掲げる「結」の如く、全員がしっかりと結び合えるよう意識し一年間活動していきましょう。まずは50周年、そしてその先の未来へも永く続く青年中央会に繋げていける一年を目指して！ よろしく申し上げます。

新委員長 挨拶

福間 龍馬 委員長 involve委員会



本年度、involve委員会の委員長を務めさせていただきます、福間龍馬です。
当委員会の活動テーマは『発信力を磨き、周りを巻き込む力を身に付ける』としております。中央会に入会して何を学べられるかは個人の行動次第かと思ひます。私は1人で出来る事はたかが知れてい
ると思ひます。大きな事を成し遂げる人には自然と人が集まり自然と周りの人が協力してくれると思ひます。
そんな人間に、委員会メンバー全員がなれるよう一年を通して楽しんで委員会活動を行ってまいります。皆様、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

太田 裕秀 委員長 bravery委員会



bravery委員会の委員長を務めさせていただきます、太田裕秀と申します。
一年間委員長としての役割を務めることができるか不安もありますが、決意を持ってこの役割に挑戦します。
委員長として、活動テーマである『一歩踏み出す勇氣！！～決断は行動～』と経営者や経営幹部に必要な経営判断力、ビジネススキルの数値力・実行力を結集して委員会活動を進めて委員会メンバーが1年間を通じて、成長出来る委員会活動を行います。一年間どうぞよろしくお願い致します。

佐々木 健二 委員長 こねくと委員会



本年度、こねくと委員会の委員長を務めさせていただきます、佐々木健二です。
当委員会の名前【こねくと】とは繋ぐ、結ぶ、結び付けるといった意味をもっております。当会に入会して何が良かったか、これから何をしたいかと考えたときに僕の中では仲間作りということが一番でした。僕に勉強は無理なので遊びを交えながら、人と人との繋がりのきっかけの場をつくっていききたいと思ひています。
こねくと委員会の仲間たちと楽しい時もつらい時も一緒にやっていきたいと思ひています。皆様、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

高橋 央 委員長 CARE委員会



今年度委員長を務めさせていただきます、高橋央です。宜しくお願い致します。
当委員会の活動テーマは「心と体の健康を基本とする」です。我々は日々ハードな仕事と中央会活動を両立しています。しかし30代40代はまだ自分は若いからとケアを怠り、気付いた頃には入会当初の写真と様変わりしていませんか？仕事も中央会も家庭サービスも全ては健康ありきです。心身共に健康である委員会を目指します。
そして第20回湖山池フェスティバルの担当委員でもあります。大きな節目の大役をしっかりとこなせる様、皆で頑張れる委員会を作りたいと思ひます。

澤村 友彰 委員長 JOINT委員会



今年度、委員長を務めさせていただきます、澤村 友彰です。当委員会は「つながり」をテーマに他団体の交流を深めて、当会のPR・自己成長・地域経済の成長に貢献することを目標に活動していきます。特に他団体として行政や学生との交流を行い、行政との連携や次世代の若手の考え方を学ぶ機会を作っていきます。学生にとっても当会とつながるメリットを感じてもらいたいと思ひます。当委員会の活動は委員会名である「JOINT」の通り、パイプの役割を果たし、新しい「つながり」を作ることと成長につながっていきます。今年1年間よろしくお願い致します。

武田 昭吾 委員長 君が憧れ委員会



本年度、君が憧れ委員会の委員長を務めます武田昭吾です。
活動テーマは「憧れに学び、憧れになる」。青年中央会は経営者・経営幹部が集まり立場・役職関係なく活動し仲間として出会うことが出来ます。様々な仕事での経験やプライベートでの経験を積んだ人たちと出会うことが出来る場で、経験を伝え仲間を作る。青年中央会の中で自身の憧れを見つけて勉強し成長する、そして次は自身が伝え誰かの憧れになる。委員会メンバーと一緒に誰かの憧れになれるよう楽しく成長できる1年間にしていきたいと思ひます。皆様、よろしくお願い致します。

新副会長 挨拶

永美 勝正 副会長



今期involve委員会を担当します副会長の永美です。平成29年度以来、3回目の副会長を務めさせていただきましたが、長いブランクのため役員としての感覚が戻るのは今期が終わる頃のような気がします。青年中央会の在籍も残すところあと1年となりました。すべての事業が最後と思うと少し寂しいところですが、できる限り伝えるべきことはしっかり伝えて、卒会を迎えたいと思ひます。50周年を目前に49期副会長をしっかりと支え、充実した1年となるよう気合いを入れて邁進してまいります。皆さまよろしくお願い致します。

徳田 豪 副会長



本年度、副会長を務めさせていただきます、徳田豪です。昨年に引き続き2回目の副会長となります。昨年の経験を生かし、私りの支え方で岡会長年度を盛り上げ、魅力ある中央会になるよう尽力いたします。
担当の「こねくと委員会」では、佐々木委員長、松下副委員長をサポートしていき、「会員・地域と繋がる委員会」を目指していきます。皆様一年間宜しくお願い致します。

木村 竜也 副会長



5年前、私のはじめて役員(副委員長)を拝命した当時、担当副会長としてお世話いただいたのが岡会長でした。その私が今年度、はじめて副会長を拝命しました。
担当はCARE委員会です。委員会活動そして第20回という節目を迎える湖山池フェスティバルを盛り上げるべく、高橋委員長・石田副委員長を支えて参ります。岡会長には受けた恩を直接お返しする気持ちで、これまで様々な方から受けた恩は次の世代に送る気持ちで、会員の皆様にとって、より実りの大きい1年となるよう精一杯努めて参ります。1年間よろしくお願い致します。

藤原 正実 副会長



3回目の副会長を務めさせていただきます入会19年目、まだまだフレッシュな藤原です！bravery(ブレイヴァリー)委員会とサポート実行委員会を担当します。
入会以来、時代と共に進化していく様子とともに、沢山の先輩方や仲間から多くを学び、感性を磨き、多様性を養う事が出来る青年中央会には感謝するばかりです。いつも新たな気付きと学びを素直に吸収出来るよう初心を大切にしつつ、古き良き中央会の精神を継承していく事もまた、自身の役割と感じています。温故知新で会に貢献出来る様、務めてまいる所存ですので何卒宜しくお願い致します。

油谷 章吉 副会長



昨年度に引き続き副会長をさせていただきます。昨年度は楽しかった事、会を運営する上での試練や難しさなど、色々経験させて頂きました。健やかなる時も、病める時も、役不足の私をサポートしてくだっただのは中央会メンバー、OBの皆様でした。この場をお借りして御礼申し上げますと共に、前年度の経験を活かし、澤村委員長、米花副委員長をサポートしていききたいと思います。今年度は行政と繋がり「学生」にフォーカスし、岡会長の今年度テーマ「結」にチャレンジし、50th以降の未来へつむいでいきます。1年間御指導の程よろしくお願い申し上げます。

伊藤 省吾 副会長



今期、初めて副会長を務めさせていただきます伊藤省吾です。「君が憧れ委員会」を担当させていただきます。
私自身これまでに4度の委員長経験をしていただいた中で、当時の担当副会長の皆さまには大変お世話になりました。心構えの面や事業の考え方など沢山のことを学ばせていただきました。今年度はテーマであります「結」の元に未来へ繋がる充実した一年になるよう武田委員長と谷本副委員長を自分なりにサポートしていききたいと思います。そして50thに繋がる重要な岡会長年度を委員会一丸となって盛り上げていきたいと思ひます。一年間、何卒よろしくお願い申し上げます。